

平成 28 年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 学生総合支援センター
氏 名 後藤綾文

活動テーマ	桑名市における家庭・学校・地域連携のいじめ予防活動の推進
実施期間	平成 28 年 6 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 30 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 本活動の 2 年目にあたる今年度の目的は、昨年度の活動をふまえ、桑名市内の家庭、学校、地域が参加するいじめ予防に向けた学習会とイベントを発展させることである。 ① 平成 28 年度 桑名市教育委員会・教育研究所の「子ども理解/生徒指導」講座『いじめの未然防止をどうすすめるか～教室の中のいじめ対応から予防まで～』研修会を行った。早稲田大学教育・総合科学学術院水谷明弘氏より、講演を賜った。 ② 2 月 4 日には、子ども、保護者、教職員等学校関係者、地域の子ども支援連関機関職員等を対象に、「いじめをなくすためにできること ～子どもたちの今、わたしたちの今～」といういじめ問題を考える学習会イベントを行った。桑名市教育委員会から、「平成 28 年度桑名市いじめの問題に関する児童生徒実態調査の結果」報告、津市スクールカウンセラー廣岡雅子氏より「子どもたちは何を求めている？一見え方、受けとめ方、話し方のクセとアサーション」講演を賜り、本活動申請者より「いじめをなくすために、わたしたちができること」ワークショップを行った。 (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 2 月 4 日に実施した、いじめ問題を考える学習会イベントのワークショップでは、参加者がそれぞれの立場で、いじめ予防に対して今からできること、普段の生活の中で大切にしたいことを、「アクションメッセージ」として色紙に書き、それをクリスマスツリーに飾り付けた。この「アクションメッセージツリー」は、今後桑名市中央図書館にて飾られる。ワークショップの内容や意義についての説明文書とともに飾り、地域の方々も自由にアクションメッセージを色紙に書いて、飾ることができる。イベント後に、地域の小学校、中学校、子ども支援に関わる関連機関には、このツリーを貸し出し、同様のワークショップを各再実施できる枠組みをつくった。昨年度もこのワークショップの枠組みは、市内の小学校や子ども支援団体により実施されている。以上より、桑名市内において、いじめ予防の意識向上、いじめ予防活動の活性化に大いに寄与できたと考えられる。 さらに、今年度は、子ども支援に関わる大人だけでなく、子どもたちも共に参加したという点で意義があり、いじめ予防活動のますますの広がりが推測される。 (3) 共同実施者との連携状況 各学習会、イベントに向けては、桑名市教育委員会と連携し、広報活動及び参加者募集、企画・実施運営を行った。本活動申請者は、平成 28 年度から桑名市いじめ問題対策連絡協議会委員となり尽力してきた。連絡協議会委員の方々は、教育委

員会、校長会代表、教職員代表、市民安全課、児童相談所、PTA、医療センターなど地域の子ども支援に関わる方々であり、本活動を推進するにあたりご尽力いただいた。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

本活動は、臨床心理士でもあり、学校心理学研究を行う申請者が中心となって実施したものである。実施したイベントは、カウンセリングや学校心理学の研究知見を根拠とし、内容が練られている。イベント後アンケート結果は、申請者の実践研究データとして学会等で報告したり、大学の講義内容にも活かすことができる。以上より、現在実施している教育・研究成果が本活動に活かされ、さらに次なる教育・研究に展開していくことができると考えている。

(5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

①平成 28 年度「子ども理解/生徒指導」講座『いじめの未然防止をどうすすめるか～教室の中のいじめ対応から予防まで～』

日時：平成 28 年 8 月 5 日 13:30～16:00

会場：桑名市教育研究所

参加者：教職員等学校関係者

②いじめ問題を考える学習会イベント

「いじめをなくすために、今、わたしたちができること」

日時：平成 29 年 2 月 4 日 10:00～12:00

会場：桑名市役所

参加者：子ども 7 名、保護者 16 名、教職員等学校関係者 9 名、地域の子ども支援関連機関職員等 6 名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

イベント後のアンケート結果からは、「保護者、子どもと立場の違う方と話すことで、教職員とは違うイメージを持って みえるのを知れて良かった」、「『何ができるか』を考える機会は、いつ、いくつあっても良いと思うので、様々な機会にみんな で考えたい」など、子ども、保護者、教職員等学校関係者、地域の子ども支援関連機関の方々から、非常に好意的な評価をいただいた。桑名市内の家庭・学校・地域が連携して、いじめ予防について考える機会が根付く第一歩となったと考えられる。